

第 7 期 報 告 書

〔 2022年 4 月 1 日から2023年 3 月31日まで 〕

一 般 財 団 法 人 明 治 安 田 健 康 開 発 財 団

東京都渋谷区代々木三丁目22番7号

目 次

第7期事業報告（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

I. 事業の概況	1
II. 事業別概況	2
III. 理事会に関する事項	20
IV. 評議員会に関する事項	28
V. 寄附に関する事項	31
VI. 受取補償金に関する事項	31

第7期決算報告（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

I. 貸借対照表	32
II. 正味財産増減計算書	33
III. 財務諸表に対する注記	37
IV. 附属明細書	39
V. 財産目録	40
VI. 監査報告書	42

第8期事業計画（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

I. 基本方針	43
II. 実行計画	43
III. 収支予算書	45

第 7 期 事 業 報 告

2022年4月1日から2023年3月31日まで

I. 事業の概況

2022年度は、新型コロナウイルスのワクチン接種も進展し、感染拡大も落ち着きを見せた。

このような環境下においても、健診事業については、新型コロナウイルス蔓延防止対策をいっそう強化しつつ、午後健診のPRはじめ受診勧奨の積極化、健診枠・受診コースの拡大等を実施したことに加え、協会けんぽを中心とした新規団体からの受診者数も増加したことから、年間総受診者数は初めて20,000人の大台を超えた。

「座り過ぎ」と「活発度」を測定する「MYライフ・ドック[®]」については、コロナ禍にもかかわらず、明治安田生命をはじめとする契約健保・団体のご協力により、2,994人の対象者へのサービス提供を行なった。

また、明治安田厚生事業団との連携により、健診データを活用した調査研究活動にも取り組んだ。

健康増進支援事業については、昨年度に引き続き明治安田生命が推進する「みんなの健活プロジェクト」、「地元の元気プロジェクト」に関わる支援活動を中心に、健康増進に関する法人向け、住民向けの活動を推進した。具体的な内容として、法人向けでは、従業員の健診結果改善に向けたマニュアルの作成や動画コンテンツの作成を行ない、住民向けでは、健康増進セミナーや各種イベントを開催した。

また、健康経営に関わる業務としては、明治安田生命と連携し、健康経営優良法人の認定取得に向けたコンテンツの開発や、法人向けの体験型セミナーの開催を実施するとともに、本年度からは健康経営におけるコンサルティングも開始した。さらに、コロナ禍の厳しい環境下でも効果が期待できるWEBを活用したセミナーの導入等、非対面型サービスの開発に注力した。

Ⅱ．事業別概況

1．人間ドック（健診）事業

Ⅰ．第7期（2022年度）人間ドック（健診）事業等受診状況

1．性・健診コース別受診者数

表1は、2022年度（第7期）と2021年度（第6期）の受診者数を性・健診コース別の受診者数とその割合、うち午後の健診状況を示したものである。なお、各健診コースの内容は以下のとおりである。

「人間ドック」は日本人間ドック学会で定められている基本検査項目を全て満たしているコース、「生活習慣病健診」は人間ドックのコースの検査項目から腹部超音波や一部の血液項目が検査されていないコース、「定期健康診断等」は労働安全衛生規則により定められている項目ならびにそれに準ずるコース、そして、「その他の健診」は婦人科、乳腺などの単独の検診や区民検診などである。

【表1】2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の性・健診コース別受診者数と平均年齢

（全体）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

		2022年度（第7期）						2021年度（第6期）					
		男性		女性		合計		男性		女性		合計	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
受診者数	人間ドック（総合健診）	6,202	64.5	5,978	56.2	12,180	60.1	6,117	66.9	5,939	60.3	12,056	63.5
	生活習慣病健診	1,273	13.2	1,682	15.8	2,955	14.6	1,153	12.6	1,539	15.6	2,692	14.2
	定期健康診断等	1,990	20.7	1,694	15.9	3,684	18.2	1,729	18.9	1,420	14.4	3,149	16.6
	その他の健診	153	1.6	1,282	12.1	1,435	7.1	149	1.6	947	9.6	1,096	5.8
	合 計	9,618	100	10,636	100	20,254	100	9,148	100	9,845	100	18,993	100
平均年齢（歳）	人間ドック（総合健診）	51.9		52.2		52.1		51.7		51.7		51.7	
	生活習慣病健診	47.6		48.1		47.9		47.5		47.9		47.8	
	定期健康診断等	30.7		30.2		30.4		30.3		29.9		30.1	
	その他の健診	40.6		43.7		43.4		38.6		43.5		42.9	
	合 計	46.8		47.0		46.9		46.9		47.2		47.1	

（午後）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

		2022年度（第7期）						2021年度（第6期）					
		男性		女性		合計		男性		女性		合計	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
受診者数	人間ドック（総合健診）	160	19.9	296	15.0	456	16.4	152	18.9	277	16.9	429	17.6
	生活習慣病健診	104	12.9	135	6.8	239	8.6	90	11.2	137	8.3	227	9.3
	定期健康診断等	528	65.6	538	27.3	1,066	38.4	539	67.2	523	31.9	1,062	43.5
	その他の健診	13	1.6	1,004	50.9	1,017	36.6	21	2.6	704	42.9	725	29.7
	合 計	805	100	1,973	100	2,778	100	802	100	1,641	100	2,443	100
平均年齢（歳）	人間ドック（総合健診）	49.4		48.5		48.8		51.2		50.0		50.4	
	生活習慣病健診	43.9		45.1		44.6		45.8		45.7		45.8	
	定期健康診断等	29.6		28.8		28.9		29.3		28.4		28.8	
	その他の健診	39.9		43.8		43.8		38.8		43.9		43.7	
	合 計	35.2		40.5		39.0		35.5		40.1		38.6	

- 1) 2022年度（第7期）の各健診コースの受診者数の合計は20,254人で、2021年度（第6期）に比べ、男性470人、女性791人増加して、全体では合計で1,261人増加した。
- 2) 2022年度の男女の受診割合は、女性受診者の増加に伴い、女性受診者の割合が52.5%と2021年度の51.8%に比べ高くなった。
- 3) 各健診コースの受診者数は、全てのコースで増加した。
- 4) 平均年齢は、男女とも人間ドックのコースは50歳代前半、生活習慣病健診は40歳代後半、定期健康診断等は30歳、その他の健診は40歳代前半となっており全ての年齢で上昇する。

2. 性・月別受診者数

表2は、2022年度（第7期）と2021年度（第6期）の性・月別受診者数とその割合、うち午後の健診状況を示したものである。

【表2】2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の性・月別受診者数

(全体)

(単位：人、%〈小数点第2位四捨五入〉)

	2022年度（第7期）						2021年度（第6期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
4月	414	4.3	366	3.4	780	3.9	294	3.2	362	3.7	656	3.5
5月	408	4.2	300	2.8	708	3.5	383	4.2	307	3.1	690	3.6
6月	778	8.1	980	9.2	1,758	8.7	778	8.5	1,003	10.2	1,781	9.4
7月	895	9.3	963	9.1	1,858	9.2	863	9.4	797	8.1	1,660	8.7
8月	923	9.6	1,144	10.8	2,067	10.2	892	9.8	832	8.5	1,724	9.1
9月	1,139	11.8	1,305	12.3	2,444	12.1	966	10.6	1,228	12.5	2,194	11.6
10月	1,163	12.1	1,316	12.4	2,479	12.2	1,062	11.6	1,380	14.0	2,442	12.9
11月	1,130	11.7	1,343	12.6	2,473	12.2	1,234	13.5	1,139	11.6	2,373	12.5
12月	916	9.5	996	9.4	1,912	9.4	840	9.2	1,074	10.9	1,914	10.1
1月	711	7.4	742	7.0	1,453	7.2	731	8.0	629	6.4	1,360	7.2
2月	674	7.0	704	6.6	1,378	6.8	609	6.7	515	5.2	1,124	5.9
3月	467	4.9	477	4.5	944	4.7	496	5.4	579	5.9	1,075	5.7
合 計	9,618	100	10,636	100	20,254	100	9,148	100	9,845	100	18,993	100

(午後)

(単位：人、%〈小数点第2位四捨五入〉)

	2022年度（第7期）						2021年度（第6期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
4月	31	3.9	40	2.0	71	2.6	18	2.2	28	1.7	46	1.9
5月	48	6.0	53	2.7	101	3.6	47	5.9	53	3.2	100	4.0
6月	32	4.0	127	6.4	159	5.7	59	7.4	142	8.7	201	8.2
7月	80	9.9	228	11.6	308	11.1	95	11.8	165	10.1	260	10.6
8月	119	14.8	277	14.0	396	14.3	89	11.1	137	8.3	226	9.3
9月	93	11.6	253	12.8	346	12.5	102	12.7	214	13.0	316	12.9
10月	86	10.7	221	11.2	307	11.1	99	12.3	221	13.5	320	13.1
11月	97	12.0	235	11.9	332	12.0	115	14.3	202	12.3	317	13.0
12月	69	8.6	201	10.2	270	9.7	67	8.4	208	12.7	275	11.3
1月	65	8.1	143	7.2	208	7.5	46	5.7	84	5.1	130	5.3
2月	55	6.8	119	6.0	174	6.3	35	4.4	86	5.2	121	5.0
3月	30	3.7	76	3.9	106	3.8	30	3.7	101	6.2	131	5.4
合 計	805	100	1,973	100	2,778	100	802	100	1,641	100	2,443	100

- 1) 2022年度（第7期）の健診稼働日は247日（男性125日、女性122日）となり、健診センター移転に伴い営業日が4日減少した。その影響で総営業日も5日減少した。1日当たりの平均受診者数は82人（男性38.9人、女性43.1人）となった。
- 2) 2022年度（第7期）は午後の人間ドック、生活習慣病健診、定期健康診断等は前年度に引き続き335人増加した。
- 3) 2022年度（第7期）月別受診者数のピークは10月の2,479人である。受診者数2,000名以上の月が8月、9月、10月、11月と4か月連続しており、受診のピークが継続している。

3. 性・年齢階級別受診者数

表3は、2022年度（第7期）と2021年度（第6期）の受診者数を性・年齢階級別に示したものである。

【表3】2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の性・年齢階級別受診者数

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2022年度（第7期）						2021年度（第6期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,143	11.9	1,289	12.1	2,432	12.0	1,052	11.5	1,030	10.5	2,082	11.0
30－39歳	1,784	18.5	1,793	16.9	3,577	17.7	1,581	17.3	1,716	17.4	3,297	17.4
40－49歳	2,498	26.0	2,722	25.6	5,220	25.8	2,531	27.7	2,686	27.3	5,217	27.5
50－59歳	2,541	26.4	3,041	28.6	5,582	27.6	2,419	26.4	2,794	28.4	5,213	27.4
60－69歳	1,244	12.9	1,374	12.9	2,618	12.9	1,190	13.0	1,251	12.7	2,441	12.9
70歳以上	408	4.2	417	3.9	825	4.1	375	4.1	368	3.7	743	3.9
合 計	9,618	100	10,636	100	20,254	100	9,148	100	9,845	100	18,993	100

- 1) 2022年度（第7期）と2021年度（第6期）の年齢階級別の受診者を比較すると、男性は40－49歳で受診者数が33人減少したものの、それ以外の年齢階級は全て増加し、女性については、全ての階級で増加した。
- 2) 年齢階級別には、50－59歳で369人と最も増加した。

4. 性・受診回数別受診者数

表4は、2022年度（第7期）と2021年度（第6期）の受診者数を性・受診回数別にその割合を示したものである。

【表4】2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の性・受診回数別受診者数

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2022年度（第7期）						2021年度（第6期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
初回受診	2,066	21.5	2,623	24.7	4,689	23.2	1,993	21.8	2,232	22.7	4,225	22.2
2回	1,364	14.2	1,390	13.1	2,754	13.6	1,475	16.1	1,495	15.2	2,970	15.6
3回	1,110	11.5	1,099	10.3	2,209	10.9	968	10.6	1,071	10.9	2,039	10.7
4回	795	8.3	858	8.1	1,653	8.2	806	8.8	740	7.5	1,546	8.1
5回	694	7.2	651	6.1	1,345	6.6	483	5.3	535	5.4	1,018	5.4
6－9回	1,307	13.6	1,486	14.0	2,793	13.8	1,250	13.7	1,359	13.8	2,609	13.7
10－14回	1,066	11.1	1,196	11.2	2,262	11.2	1,064	11.6	1,274	12.9	2,338	12.3
15－19回	722	7.5	889	8.4	1,611	8.0	644	7.0	743	7.5	1,387	7.3
20－24回	268	2.8	285	2.7	553	2.7	261	2.9	256	2.6	517	2.7
25－29回	138	1.4	86	0.8	224	1.1	116	1.3	84	0.9	200	1.1
30回以上	88	0.9	73	0.7	161	0.8	88	1.0	56	0.6	144	0.8
合 計	9,618	100	10,636	100	20,254	100	9,148	100	9,845	100	18,993	100

- 1）2022年度（第7期）の初回受診の全体人数は前年度に比べ464人増加し、受診回数2回目の受診者数については216人減少した。
- 2）2022年度（第7期）は前年度に比べ、受診回数3回－9回は788人増加（男性399人、女性389人）、また10回－29回は208人増加（男性109人、女性99人）、30回以上は17人増加（男性0人、女性17人）であり、全体的に増加傾向にあった。

5. 契約健保・団体、一般の個人からの受診状況

表5は、契約健康保険組合と事業所団体（健保・団体）、協会けんぽ、ならびに個人（一般・個人）の受診状況を示したものである。

【表5】2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の性・契約（一般・団体）別受診者数

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2022年度（第7期）						2021年度（第6期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
新宿区民健診	1	0.0	66	0.6	67	0.3	2	0.0	60	0.6	62	0.3
MYヘルス倶楽部	263	2.7	340	3.2	603	3.0	254	2.8	299	3.0	553	2.9
協会けんぽ	1,508	15.7	1,313	12.3	2,821	13.9	1,216	13.3	1,061	10.8	2,277	12.0
一般・個人	25	0.3	105	1.0	130	0.6	25	0.3	97	1.0	122	0.6
健保・団体	7,821	81.3	8,812	82.9	16,633	82.1	7,651	83.6	8,328	84.6	15,979	84.1
合 計	9,618	100	10,636	100	20,254	100	9,148	100	9,845	100	18,993	100

- 1) 「MYヘルス倶楽部」の2022年度（第7期）の受診者数については2021年（第6期）より50人増加し、そのうち新規のMYヘルス倶楽部加入者は29人であった。
MYヘルス倶楽部は退職後に加入する国民健康保険者、健康保険組合や団体から補助のない方が対象者である。
- 2) 「協会けんぽ」の2022年度（第7期）受診者は、新規団体が16団体増えたことにより、受診者割合が13.9％と前年度より1.9％増加し、受診者数も544人増加した。
- 3) 契約健康保険組合・事業所団体（「健保・団体」）の2022年度（第7期）の受診者割合は82.1％と前年度に比べ2.0％減少したものの、受診者数は654人増加した。

6. 性・年齢階級別腹部超音波・上部消化管（X線・内視鏡）検査の受診状況

表6は、性・年齢階級別の腹部超音波、上部消化管X線、上部消化管内視鏡による各検査の受診者数とその割合を示したものである。

【表6】2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の性・年齢階級別
腹部超音波・上部消化管（X線・内視鏡）検査受診状況

（男性）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2022年度（第7期）						受診者数	2021年度（第6期）					
		腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,143	34	3.0	19	1.7	7	0.6	1,052	29	2.8	21	2.0	7	0.7
30－39歳	1,784	708	39.7	691	38.7	213	11.9	1,581	695	44.0	657	41.6	213	13.5
40－49歳	2,498	2,097	83.9	1,516	60.7	738	29.5	2,531	2,177	86.0	1,552	61.3	752	29.7
50－59歳	2,541	2,302	90.6	1,476	58.1	819	32.2	2,419	2,198	90.9	1,443	59.7	768	31.7
60－69歳	1,244	1,111	89.3	596	47.9	483	38.8	1,190	1,070	89.9	586	49.2	444	37.3
70歳以上	408	382	93.6	129	31.6	178	43.6	375	355	94.7	120	32.0	161	42.9
合 計	9,618	6,634	69.0	4,427	46.0	2,438	25.3	9,148	6,524	71.3	4,379	47.9	2,345	25.6

（女性）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2022年度（第7期）						受診者数	2021年度（第6期）					
		腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,289	38	2.9	24	1.9	8	0.6	1,030	38	3.7	18	1.7	11	1.1
30－39歳	1,793	689	38.4	534	29.8	202	11.3	1,716	727	42.4	508	29.6	237	13.8
40－49歳	2,722	2,004	73.6	1,205	44.3	690	25.3	2,686	2,076	77.3	1,256	46.8	752	28.0
50－59歳	3,041	2,370	77.9	1,296	42.6	814	26.8	2,794	2,267	81.1	1,268	45.4	788	28.2
60－69歳	1,374	1,132	82.4	504	36.7	408	29.7	1,251	1,049	83.9	501	40.0	369	29.5
70歳以上	417	365	87.5	134	32.1	118	28.3	368	335	91.0	132	35.9	111	30.2
合 計	10,636	6,598	62.0	3,697	34.8	2,240	21.1	9,845	6,492	65.9	3,683	37.4	2,268	23.0

- 1）2022年度（第7期）の腹部超音波検査の実施率については、前年度に比べ全体において男性が2.3％、女性については3.9％減少した。また34歳以下の定期健康診断の基本項目に腹部超音波検査が含まれないことから、オプション検査としての枠を拡充した。そのことにより29歳以下の受診者においては2021年度（第6期）より男性91人、女性259人増加した。
- 2）2022年（第7期）の上部消化管X線検査は、2021年度（第6期）に比べて、男性の受診者が48人、女性についても14人増加した。
- 3）上部消化管内視鏡検査については、2022年度（第7期）は、特に50歳以上の受診者が、2021年度（第6期）に比べ、男性107人、女性72人それぞれ増加した。

7. 女性の婦人科検診、乳房検診の実施状況

表7は、女性の婦人科検診、乳房検診の実施状況ならびに乳房検診におけるエコー（超音波）とマンモグラフィの受診者数と実施率を示したものである。

【表7】2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の年齢階級別婦人科検診・乳房検診受診状況

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2022年度（第7期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,289	310	24.0	333	25.8	330	25.6	10	0.8
30－39歳	1,793	898	50.1	1,109	61.9	1,006	56.1	212	11.8
40－49歳	2,722	1,811	66.5	2,115	77.7	1,229	45.2	1,374	50.5
50－59歳	3,041	2,030	66.8	2,324	76.4	1,134	37.3	1,719	56.5
60－69歳	1,374	893	65.0	1,061	77.2	469	34.1	762	55.5
70歳以上	417	265	63.5	326	78.2	153	36.7	227	54.4
合 計	10,636	6,207	58.4	7,268	68.3	4,321	40.6	4,304	40.5

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2021年度（第6期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,030	237	23.0	241	23.4	238	23.1	6	0.6
30－39歳	1,716	883	51.5	1,091	63.6	986	57.5	204	11.9
40－49歳	2,686	1,825	67.9	2,136	79.5	1,204	44.8	1,385	51.6
50－59歳	2,794	1,832	65.6	2,115	75.7	1,008	36.1	1,495	53.5
60－69歳	1,251	803	64.2	955	76.3	424	33.9	658	52.6
70歳以上	368	230	62.5	277	75.3	129	35.1	182	49.5
合 計	9,845	5,810	59.0	6,815	69.2	3,989	40.5	3,930	39.9

1) 受診者数が最も多かった年齢階級は、50－59歳であった。

2) 乳房検診では、エコーの実施率は30－39歳が最も高かった（56.1%）。

40歳以上の受診者にはマンモグラフィを勧奨していることもあり、40歳以上の年齢階級では、マンモグラフィの実施率がエコーの実施率を上回った。

8. 性・検査対象疾患別の判定結果

表8は、人間ドック学会統計に準じて検査対象疾患別の判定結果を男女別に示したものである。
なお、判定は人間ドック学会の判定基準に準拠した。

C : 生活習慣の改善ならびに経過観察が必要

D 2 : 精密検査が必要

D 1 : 治療が必要

E : 継続治療

【表 8】 2022 年度（第 7 期）・2021 年度（第 6 期）の性・検査対象疾患別判定結果

(単位：％〈小数点第 2 位四捨五入〉)

疾 患 名	検査方法	性別	2022 年度（第 7 期）				2021 年度（第 6 期）			
			判 定 区 分（占率）				判 定 区 分（占率）			
			C	D 1	D 2	E	C	D 1	D 2	E
肥 満（過 体 重）	身 体 測 定	男	30.5	0.0	0.0	0.0	30.3	0.0	0.0	0.0
		女	16.4	0.0	0.0	0.0	16.2	0.0	0.0	0.0
呼 吸 器 疾 患	胸 部 X 線	男	2.5	0.0	1.0	0.1	2.2	0.0	0.7	0.1
		女	2.0	0.0	1.0	0.1	2.0	0.0	0.8	0.2
高 血 圧	血 圧 測 定	男	8.8	2.3	0.0	15.5	8.3	2.3	0.0	15.2
		女	4.8	1.0	0.0	8.5	4.2	0.9	0.0	8.3
高コレステロール	血 液 生 化 学	男	22.7	3.4	0.0	0.0	25.3	4.6	0.0	0.0
		女	18.4	3.0	0.0	0.0	20.7	3.6	0.0	0.0
高 中 性 脂 肪	血 液 生 化 学	男	2.6	0.9	0.0	0.0	1.4	0.2	0.0	0.0
		女	0.5	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
高 尿 酸	血 液 生 化 学	男	5.8	1.8	0.0	7.7	4.2	1.3	0.0	7.6
		女	0.4	0.1	0.0	0.2	0.4	0.1	0.0	0.2
心 電 図 異 常	心 電 図	男	7.9	0.0	1.0	0.6	8.3	0.0	0.9	0.6
		女	5.7	0.0	0.5	0.1	6.3	0.0	0.5	0.2
食 道 疾 患	胃 部 X 線	男	19.8	0.1	0.5	0.0	18.9	0.1	0.4	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	13.4	0.1	0.3	0.0	10.6	0.0	0.5	0.0
胃 疾 患	胃 部 X 線	男	32.5	0.2	1.7	0.0	32.4	0.1	1.0	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	38.3	0.4	1.4	0.0	37.4	0.1	1.0	0.0
十 二 指 腸 疾 患	胃 部 X 線	男	3.1	0.0	0.1	0.0	3.3	0.1	0.1	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	1.2	0.0	0.1	0.0	1.1	0.1	0.1	0.0
胆石・胆のうポリープ	腹 部 超 音 波	男	30.6	0.0	1.9	0.0	30.8	0.0	1.4	0.0
		女	22.0	0.0	1.4	0.0	21.6	0.0	1.2	0.0
肝 機 能 障 害 (脂 肪 肝 含)	血 液 生 化 学	男	35.5	0.0	5.0	0.3	38.3	0.0	5.1	0.4
	腹 部 超 音 波	女	12.8	0.0	1.1	0.2	13.8	0.0	1.0	0.3
糖 尿 病 (耐 糖 能 障 害)	血 液 生 化 学	男	10.0	2.9	0.1	5.1	10.7	3.4	0.1	5.0
		女	6.4	0.9	0.1	1.9	6.9	1.0	0.1	2.0
血 液 疾 患	血 液 生 化 学	男	9.8	0.0	3.8	0.1	9.7	0.0	3.3	0.1
		女	19.4	0.0	4.3	0.9	17.8	0.0	3.9	0.9
肛 門 ・ 大 腸 疾 患	便 潜 血 反 応	男	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0
		女	0.0	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0
前 立 腺 疾 患	P S A 検 査	男	0.0	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	4.5	0.1
		女	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
婦 人 科	婦 人 科	男	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		女	18.5	0.8	4.6	1.3	19.3	1.2	4.0	1.7
乳 房 疾 患	触 診 ・ 超 音 波	男	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	マンモグラフィ	女	4.9	0.0	1.0	0.0	5.6	0.0	1.0	0.0
その他の疾患		男	26.3	0.0	11.7	2.3	29.1	0.0	7.9	2.3
		女	25.1	0.0	5.7	2.3	24.9	0.0	6.7	2.0

- 1) 2022 年度（第 7 期）の検査対象疾患別の判定結果で「要精密検査（D 2）」と判定された割合が高い疾患は、男性では肛門・大腸疾患、肝機能障害（脂肪肝含む）、前立腺疾患、女性では肛門・大腸疾患、婦人科、血液疾患であった。
- 2) 「生活習慣の改善ならびに経過観察が必要（C）」と判定された割合が高い疾患は、男性では、肝機能障害（脂肪肝含む）、胃疾患、胆石・胆のうポリープ、肥満（過体重）、高コレステロール、女性では、胃疾患、胆石・胆のうポリープ、血液疾患、婦人科、高コレステロールであった。

Ⅱ. 特定健診・特定保健指導・保健指導実施状況

2022年度（第7期）は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施しながら、対面での保健指導を実施した。2021年度と比較しても増加がみられた。受診者の方には、リピーターの方も多く、当日結果説明と保健指導ともに希望者も多くいた。コロナ禍での生活の不安やアドバイスを期待している姿も多くあった。短期的なアドバイスと次回の健診時までの目標を定め、来年度の受診率にも寄与した。

また、第63回人間ドック学会において、「当日結果説明率向上に向けた当院での取り組み」の研究発表を行なった。当日結果説明率の向上は、保健指導への増加にも繋がる一つになった。同時に効率的な保健指導の実施のため、引き続きポイントを押さえたアドバイスに努めた。

特定保健指導の実施者数は、前年度とほぼ同数の実績であった。社会的にもリモートワークが仕事のベースとなり、特定保健指導対象者は増えたが、実際の特定保健指導受診者には繋がらなかった。また、健診当日に初回面接を希望する健保も増えている。そのニーズに合わせた組織の在り方を検討していく。

【表9】2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の特定健診受診状況

2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の
特定健診受診状況

	2022年度（第7期）			2021年度（第6期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
特定健診受診者数	8,542	8,902	17,444	8,055	8,466	16,501

2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の
特定保健指導実施状況

	2022年度（第7期）			2021年度（第6期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
動機づけ	2	1	3	4	2	6
積極的	6	3	9	3	2	5
合計	8	4	12	7	4	11

2022年度（第7期）・2021年度（第6期）の
保健指導実施状況

	2022年度（第7期）			2021年度（第6期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
保健指導	2,495	1,904	4,399	1,964	1,754	3,718

Ⅲ. 調査研究・普及啓発活動

人間ドック等から得られるデータに基づき、公衆衛生の向上に資する調査研究および知見の普及啓発に取り組んだ。実施状況は下表のとおり。

1. 論文、報告物、出版物などの報告・発行

著 者 名	題 名	掲載誌名・発行年
三森 教雄	胃癌治療の変遷	慈恵医大誌 137, 75-86 (2022)
Sherwinter A D, Boni L, Bouvet M, Ferri L, Hyung J W, Ishizawa T, Kaleya N R, Kelly K, Kokudo N, Lanzarini E, Luyer D P M, <u>Mitsumori N</u> , Mueller C, Park J D, Ribero D, Rosati R, Ruurda P J, Sosef M, Schneider-Koraith S, Spinoglio G, Strong V, Takahashi N, Takeuchi H, Wijnhoven P L B, Yang H-K, Dip F, Menzo L E, White P K.	Use of fluorescence imaging and indocyanine green for sentinel node mapping during gastric cancer surgery: Results of an intercontinental Delphi survey.	Raul J Rosenthal Surgery. 172(6S), S29-S37 doi: 10.1016/j.surg.2022.06.036 (2022)
Tajima T, Ota O, Nagayama M, Takahashi M, Yamada M, Ishiyama N, Yoshida I, Takemura M, Hara K, Akama T, <u>Mitsumori N</u> , Higashihara J, Toyama Y, Furuya M, Chosa E, Nakamura A.	Head Injury Assessment in the Elite Level Rugby Union in Japan.	International journal of sports medicine. 43(10), 889-894 doi: 10.1055/a-1810-6509 (2022)
Ikeda M, Yoshida M, <u>Mitsumori N</u> , Etoh T, Shibata C, Terashima M, Fujita J, Tanabe K, Takiguchi N, Oshio A, Nakada K.	Assessing optimal Roux-en-Y reconstruction technique after total gastrectomy using the Postgastrectomy Syndrome Assessment Scale-45.	World journal of clinical oncology. 24;13(5), 376-387 doi: 10.5306/wjco.v13.i5.376 (2022)
Yuda M, Nishikawa K, Ishikawa Y, Takahashi K, Kuroguchi T, Tanaka Y, Matsumoto A, Tanishima Y, <u>Mitsumori N</u> , Ikegamii T.	Intraoperative nerve monitoring during esophagectomy reduces the risk of recurrent laryngeal nerve palsy	Surgical endoscopy. 36(6), 3957-3964 (2022)

著 者 名	題 名	掲載誌名・発行年
Nagaoka S, Yamashita H, Seto Y, Fujisaki M, <u>Mitsumori N</u> , Oshima Y, Yajima S, Kikuchi Y, Otsuka K, Murakami M, Fujita S, Futawatari N, Shimada H.	Taxane-based versus platinum-based chemotherapy in early recurrent gastric cancer after radical surgery with S-1 adjuvant chemotherapy: A multi-institutional retrospective analysis.	Asia-Pacific journal of clinical oncology. 18(6), 540-545 (2022)
Tanishima Y, Nishikawa K, Ishikawa Y, Takahashi K, Masuda T, Kuroguchi T, Yuda M, Tanaka Y, Matsumoto A, Yano F, <u>Mitsumori N</u> , Ikegami T.	Effect of the postural transition in minimally invasive esophagectomy: a propensity score matching analysis.	Surgical endoscopy. 36(6), 3947-3956 (2022)

2. 学会・研究会の発表

著 者 名	題 名	学会・研究会・開催地・月	掲載誌名・発行年
米澤 裕子、井上 果菜子、柴垣 崇、芝田 なおみ、鈴木 珠美、進藤 仁、中田 希代子、内田 賢、三森 教雄	当日結果説明率向上に向けた当院での取り組み	第63回日本人間ドック学会	第63回日本人間ドック学会抄録（2022）

3. ホームページによる健康情報発信

明治安田新宿健診センター HP「健康のひけつ」

No.	年	月	題名	執筆者名
42	2022	6	お口まわりの健康	看護師 薬師神 道子
43	2022	6	サルコペニアを知って健康長寿をめざそう	医師 井上 果菜子
44	2022	7	食物繊維を増やそう！	管理栄養士 安部 智子
45	2022	7	健康GETのために体重計を使おう！	健康増進支援センター 青木 稜 吉田 朋子
46	2022	10	骨密度測定方法の種類と特徴	診療放射線技師チーム 萩原 正宏
47	2022	11	時間医学のすすめ	医師 進藤 仁
48	2022	12	今日からはじめるフレイル予防	看護師 沼田 仁美
49	2023	2	自宅でのひと工夫	管理栄養士 健康運動指導士 江夏 直子

2. 健康増進支援事業

1. 健康情報の普及啓発

(1) 健康増進セミナー

科学的根拠に基づいた健康情報の普及啓発活動として、健康増進セミナーを実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

実施実績 [*]	実施形式	
	明治安田生命グループ向け	社外向け
66回	29回	37回

※ 地方創生・健康経営を除く

(2) 健康経営の普及啓発・活動支援

健康経営の各種認定取得、講演の実施、他社支援等、幅広く実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

①当財団の健康経営等認定状況

No.	年度目標（認定団体）	認定日
1	東京都スポーツ推進企業（東京都）	2022年12月1日
2	健康優良企業（金の認定） （健康保険組合連合会東京支部）	2023年1月1日
3	スポーツエールカンパニー （スポーツ庁）	2023年2月17日
4	健康経営優良法人 （経済産業省・日本健康会議）	2023年3月8日（ブライト500取得）

②健康経営セミナー

実施実績	実施形式
39回	対面型：18回，Web：21回

③健康経営支援（コンテンツ提供・コンサルティング・申請支援）

認定制度		支援企業数
健康優良企業	銀の認定	0社
健康経営優良法人	大規模法人部門	4社
	中小規模法人部門	1社

(3) 地方創生支援

自治体等と連携し各地で講演・支援を実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

①自治体と連携した事業

実施実績	開催地
44回 (対面：40, web：4)	大網白里市（千葉）・坂戸市（埼玉）・湯河原町（神奈川）・東松山市（埼玉）・四條畷市（大阪）・東久留米市（東京）・平塚市（神奈川）・秩父市（埼玉）・習志野市（千葉）・佐渡市（新潟）・川越市（埼玉）・北区（東京）・船橋市（千葉）・立川市（東京）・嵐山町（埼玉）・松崎町（静岡）・出雲市（島根）・八千代市（千葉）・栗東市（滋賀）・菊川市（静岡）・柏市（千葉）・長岡京市（京都）・開成町（神奈川）・練馬区（東京）・北上市（岩手）

②公民館と連携した事業

実施実績	開催地
19回 (対面：19, web：0)	掛川市千浜農村環境改善センター（掛川市・静岡）・笠間公民館（笠間市・茨城）・八王子高齢者あんしん相談センター（八王子市・東京）・守口市中部エリアコミュニティセンター（守口市・大阪）・府中市立押立体育館（府中市・東京）・甲州市中央公民館（甲州市・山梨）・大館市中央公民館（大館市・秋田）・名取市中央公民館（名取市・宮城）・中央公民館岩木館（弘前市・青森）・長井市置賜生涯学習プラザ（長井市・山形）・吉川市中央公民館（吉川市・埼玉）・青森市東部市民センター（青森市・青森）・焼津公民館（焼津市・静岡）・東陽図書館（江東区・東京）・鳥取県立図書館（鳥取）

2. 調査研究活動

(1) 論文・報告書などの報告

著 者 名	題 名	掲載誌名・発行年
Yuki Hikihara, Masashi Watanabe, Tomoko Aoyama, Hitoshi Wakabayashi, Satoshi Hanawa, Naomi Omi, Shigeho Tanaka	Does earlier acquisition of motor competence promote pubertal physical activity in Japanese elementary school children: A 4-year follow-up study	J Sports Sci. 2022 Sep;40(18):2000-2009
Tomoko Aoyama, Yuki Hikihara, Masashi Watanabe, Hitoshi Wakabayashi, Satoshi Hanawa, Naomi Omi, Hidemi Takimoto, Shigeho Tanaka	Infant gross motor development and childhood physical activity: Role of adiposity	JSAMS Plus Volume 2, 2023, 100021

(2) 出版物などの発行

No.	題名	連携先・発行元
1	健康知識テキスト2022	明治安田生命保険相互会社 営業教育部
2	明治安田健康経営認定支援サービス GUIDE BOOK 2022年4月改訂版	明治安田生命保険相互会社 地域リレーション推進部
3	明治安田健康経営認定支援サービス 「健康優良企業（銀の認定）」版 GUIDE BOOK 2022年4月改訂版	

(3) 健康情報誌の出版・寄稿

①明治安田生命職員用冊子「まなび！（健活サポーターのための健康プチ知識）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2022	6	女性の健康課題「PMS：月経前症候群」を知ろう	宇野 真里子
2	2022	7	「更年期障害」について理解を深めよう	
3	2023	1	「フレイル」について理解を深めよう！	
4	2023	3	「ロコモ」について理解を深めよう	

②明治安田生命労働組合冊子「きらら（健康あれこれ）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2022	4	「タバコをやめると太るから喫煙を続ける」なんてもったいない!? 禁煙と体重コントロールについて	鶴田 愛
2	2022	6	“ストレスと上手に付き合う方法” こころを元気に保つためのヒント	小川 将司
3	2022	8	夏でも元気に！楽しく！ 運動するためのポイント！	塙 智史
4	2022	10	我慢しなくていい!? 「おやつ」を美味しく、賢く食べるコツ	桂 久美子
5	2022	12	「正月太り」を予防する 消費エネルギーの増やし方!!	青木 稜
6	2023	1	午後の仕事も精力的に！ 「パワーナップ」の活用法	小川 将司

③明治安田生命労働組合冊子「きらら（健康倶楽部）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2022	4	筋肉のおとろえ予防には“筋トレ” 効果的な実践方法をCHECK！	小川 将司
2	2022	6	正しい方法の“筋トレ”で効果的に健康なカラダをめざす！	小川 将司
3	2022	8	オフィスでできる！自宅でできる！ 眼精疲労のためのセルフマッサージ	原 悠樹
4	2022	10	「忙しい日々だからこそ、ほっとひと息…」 心を整えるセルフケア	小川 将司
5	2022	12	知らないうちに食べている？	吉田 朋子
6	2023	1	寒い時期も明るい生活を！	小川 将司

④明治安田生命安心お届け資料「健康News」

No.	題名	著者名
1	あらためて、基本的な感染症対策の効果を振り返ろう	西村 裕介
2	健康診断ってなぜ必要？	塙 智史
3	暑い季節を乗り越えるためにできること	小川 将司
4	暑い季節の“快適な睡眠環境の作り方”	西村 裕介
5	1日の始まり、「朝食」の重要性	吉田 朋子
6	身体を動かして、生活習慣病を予防しよう！	西村 裕介
7	インターネットの健康情報を正しく理解しよう！	西村 裕介
8	冷え性におススメの対策と対処法	原 悠樹
9	年末年始の健康的な過ごし方	西村 裕介
10	健康知識クイズに挑戦！	原 悠樹
11	ストレスとうまく付き合おう！	西村 裕介
12	あいさつを心がけて健やかに！	塙 智史

⑤明治安田健康経営認定支援サービスVOD

No.	題名
1	認定支援サービス（全国版）VOD 2022年度改訂ポイント
2	認定支援サービス（銀の認定版）VOD 2022年度改訂ポイント
3	認定支援サービス（全国版）VOD 「健康経営優良法人2023」改訂ポイント
4	認定支援サービス（全国版）VOD 「健康経営優良法人2023」申請方法

⑥明治安田生命グループ従業員向け動画・資料コンテンツ「MY 健活デー教材」

No.	年	月	題名
1	2022	4	＜健康課題の総論＞ BMI・血圧・糖代謝・肝機能・中性脂肪・尿たんぱく・健康習慣課題なし・健康習慣課題あり
2	2022	5	＜病気とリスク＞ 生活習慣病の進行イメージ・BMI・血圧・糖代謝・肝機能・中性脂肪・尿たんぱく・健康習慣課題なし・健康習慣課題あり
3	2022	6	＜適正体重の維持＞ 基礎・BMI・血圧・糖代謝・肝機能・中性脂肪・尿たんぱく・健康習慣課題なし・健康習慣課題あり
4	2022	8	＜バランスのよい食事＞ 基礎・BMI・血圧・糖代謝・肝機能・中性脂肪・尿たんぱく・健康習慣課題なし・健康習慣課題あり
5	2022	9	＜運動の基本＞ 基礎・タイプ分け・初級編・中級編・上級編
6	2022	10	＜たばこ＞ 基礎①・基礎②・基礎③・健康課題別
7	2022	11	＜食べ方＞ 朝食編・夕食編・BMI・血圧・糖代謝・肝機能・中性脂肪・尿たんぱく・健康習慣課題なし・健康習慣課題あり
8	2022	12	＜運動の応用（実践編）＞ 効果的に運動するために・ウォーキングのポイント・エクササイズ等のポイント
9	2023	2	＜間食（嗜好品）の目安＞ 基礎・BMI・血圧・糖代謝・肝機能・中性脂肪・尿たんぱく・健康習慣課題なし・健康習慣課題あり
10	2023	3	＜ストレス＞ 現状・ストレスとは・セルフケア・健康課題別

⑦明治安田生命グループ従業員向け動画コンテンツ「MY 健康チャンネル」

No.	年	月	題名
1	2022	4	年度始「今年度の健活について」
2	2022	7	健活週間「MY 健活アドバイスについて」・「ベネフィットについて」
3	2022	10	7月好事例紹介「和歌山支社」
4	2022	11	8月好事例紹介「リスク管理統括部」
5	2022	12	9月好事例紹介「金融法人部」
6	2023	1	10月好事例紹介「松江支社」
7	2023	1	健活週間「健康年齢について」
8	2023	2	11月好事例紹介「調査部」
9	2023	3	12月好事例紹介「鳥取支社」

⑧明治安田生命グループ従業員向けコンテンツの監修・資料提供
「健康科学プログラムのMY 健活アドバイス」

ジャンル	内容
全体	アドバイスの内容を監修
運動動画	エクササイズ紹介 ・ 上肢 (プッシュアップ・リバースプッシュアップ・タオルローイング・壁シュラッグ・サイドレイズ) ・ 下肢 (スクワット・スプリットスクワット・シングルレッグルーマニアデッドリフト・グルーとプッシュアップ・カーフレイズ) ・ 体幹部 (クランチ・チェアニーアップ・椅子グッドモーニング・バックアーチ・プランク)
運動資料	初心者向け・エクササイズ一覧・早歩き
食資料	副菜を増やそう、野菜をたっぷり食べる秘訣、果物を食べよう、主食の量を見直すコツ、脂質をおさえるコツ、今からできる減塩のヒント、適量の間食にするヒント、甘い物との上手な付き合い方、お酒は適量で楽しもう

⑨明治安田生命 支社・本部向け動画作成

No.	題名
1	～いつまでも元気であるために～ 生涯現役セミナー
2	“食”からはじめる健康づくり 食習慣改善セミナー
3	快眠セミナー 良い睡眠で、一日のスタートを

⑩法人・団体からの依頼に基づく動画コンテンツ（DVD・VOD）

No.	種別	題名
1	企業	明治安田システム・テクノロジー・介護の広場 食習慣を改善しましょう

(4) メディア掲載

科学的根拠に基づいた健康情報を普及啓発するため、広報活動を実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

No.	年	月	媒体	掲載（番組）タイトル
1	2022	11	Web	JAF 東京 東京タワーの外階段をのぼって健康に！衰えチェックと体力アップエクササイズ
2	2023	3	Web	令和4年度東京都スポーツ推進企業取組事例集

Ⅲ．理事会に関する事項

定時理事会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

2022年5月30日（月）午後3時30分、東京都新宿区西新宿1－8－3 小田急明治安田生命ビルにて理事会を開催した。

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

- 第1号議案 第6期計算書類等承認の件
- 第2号議案 定時評議員会招集の件
- 第3号議案 理事候補者選出（2名再任、1名新任）の件

報告事項

- 第1号報告 2021年度職務執行状況報告の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 3名
- (2) 出席理事数 3名

出席理事	今泉 宏久氏、内田 賢氏、森田 健氏
出席監事	石橋 健司氏

1. 開会に先立ち、森田理事より、現在の総理事数3名のうち、理事会開始時の出席理事は2名（内田理事は、理事会開始時刻に間に合わなかったため、第3号議案の審議にのみ出席。その他の議案については、2名の理事で審議となったが、理事会としては有効に成立）であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
 2. 代表理事今泉宏久氏は、定款32条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣したのち、定款34条の規定に従って、本理事会の議事録を作成のうえ、代表理事および監事が記名押印することを述べた。
 3. 議長は、第1号議案「第6期計算書類等承認の件」を上議し、議長が別紙資料を用い説明した。石橋監事より、計算書類等の監査結果について適正である旨の講評をいただいた。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
 4. 議長は、第2号議案「定時評議員会招集の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
 5. 議長は、第1号報告「2021年度職務執行状況報告の件」を上議し、森田理事が別紙資料を用い報告した。石橋監事より、移転は一大イベント。第二の創業ととらえて、一致団結して成功させていきたいとの意見をいただく。
- 上記議案・報告が終了した時点の午後3時53分、所用により石橋監事が退席され、理事会を中断。午後4時15分に内田理事が到着したため、理事3名にて理事会を再開。
6. 議長は、第3号議案「理事候補者選出（2名再任、1名新任）の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
- 以上をもって議事を終了したので、午後4時20分、議長は閉会を宣言した。

理事会議事録（Web開催）

一般財団法人 明治安田健康開発財団

2022年6月20日（月）午後4時35分、理事3名は東京都新宿区西新宿1-8-3 小田急明治安田生命ビル、石橋監事は東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命本社にて、WEB会議システム（「Microsoft Teams meeting」）を利用し開催した。

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

第1号議案 理事長（代表理事）および業務執行理事の選定の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 3名
- (2) 出席理事数 3名

出席理事	今泉 宏久氏、森田 健氏、三森 教雄氏
出席監事	石橋 健司氏

1. 午後4時35分、開会に先立ち、森田事務局長より、本日の評議員会は、「Web会議システム」を利用し行なう旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。
2. 続いて、森田事務局長より、現在の総理事数3名のうち、本日の出席理事数は3名であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
3. 理事今泉宏久氏は、議長を務める旨を述べ全員の賛同を得て、開会を宣した。
4. 議長は、第1号議案「理事長（代表理事）および業務執行理事の選定の件」を上議した。
本日の評議員会において理事に選任された今泉宏久氏を理事長（代表理事）とし、森田健氏を業務執行理事（総務部担当理事）とし、三森教雄氏を業務執行理事（健診センター担当理事）として選定する旨を述べ、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し可決承認された。

以上、本日のWeb会議システムを用いた理事会は、即時・双方向性が満たされており、終始異状なく議題の審議を終了したので、午後4時45分、議長は閉会を宣した。

理事会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

2022年12月8日（木）午後2時30分、東京都新宿区西新宿1－8－3 小田急明治安田生命ビルにおいて、理事会を開催した。

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

第1号議案 財団移転に伴う事業計画修正の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 3名
- (2) 出席理事数 3名

出席理事	今泉 宏久氏、森田 健氏、三森 教雄氏
出席監事	石橋 健司氏

1. 午後2時30分、森田事務局長より、現在の総理事数3名のうち、本日の出席理事数は3名であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。

2. 代表理事今泉宏久氏は、議長を務める旨を述べ全員の賛同を得て、開会を宣した。

3. 議長は、第1号議案「財団移転に伴う事業計画修正の件」を上議した。

資料に基づき、代表理事が決裁いただきたい事項・財団の強みの再構築・新コンセプトについて説明。森田理事が事業計画の柱および来年度以降の収支予測等について説明。その後、理事長（代表理事）より受診者増加対策を中心とした営業計画および資金手当について説明。審議を求めたところ、石橋監事より以下3点のご意見をいただいた。

- ・移転補償費、寄付金について経理処理について問題が生じないよう入念な確認をとっていただきたい
- ・事業計画の達成には、営業体制の強化・専門職の採用が前提となっているので、もれなく対応いただきたい
- ・健康増進支援センターは、今後の財団の運営において大きな役割を担うことになるので、研究・実績面で明治安田生命の先を行くくらいの取組みをお願いしたい

この後、全員異議なく賛成し、本議案は可決承認された。

以上、本日の理事会は、終始異状なく議題の審議を終了したので、午後2時50分、議長は閉会を宣した。

定時理事会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

2023年3月20日（月）午後3時00分、東京都新宿区西新宿1-8-3 小田急明治安田生命ビルにて理事会を開催した。

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

- 第1号議案 財団移転に伴う事業計画再修正の件
- 第2号議案 2023年度（第8期）経営計画・収支予算の件
- 第3号議案 評議員会（書面開催）の件
- 第4号議案 「主たる事務所の所在場所」変更の件
- 第5号議案 個人情報の保護に関する方針改正の件

報告事項

- 第1号報告 2022年度（第7期）職務執行状況報告の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 3名
- (2) 出席理事数 3名

出席理事	今泉 宏久氏、森田 健氏、三森 教雄氏
出席監事	石橋 健司氏

1. 開会に先立ち、森田理事より、現在の総理事数3名のうち、本日の出席理事は3名であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 代表理事今泉宏久氏は、定款32条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣したのち、定款34条の規定に従って、本理事会の議事録を作成のうえ、代表理事および監事が記名押印することを述べた。
3. 議長は、第1号議案「財団移転に伴う事業計画修正の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
4. 議長は、第2号議案「2023年度（第8期）経営計画・収支予算の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
5. 議長は、第3号議案「評議員会（書面開催）の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
6. 議長は、第4号議案「「主たる事務所の所在場所」変更の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
7. 議長は、第5号議案「個人情報の保護に関する方針改正の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
8. 議長は、第1号報告「2022年度（第7期）職務執行状況報告の件」を上議し、森田理事が別紙資料を用い報告した。

以上をもって議事を終了したので、午後3時20分、議長は閉会を宣言した。

IV. 評議員会に関する事項

定時評議員会議事録（WEB開催）

一般財団法人 明治安田健康開発財団

1. 開催日時 2022年6月20日（月）午後4時00分から午後4時30分

2. 開催場所 東京都新宿区西新宿1-8-3 小田急明治安田生命ビル

以下の評議員及び監事は、Web会議システム（「Microsoft Teams meeting」）により以下の場所に参加した。

評議員

阪本要一氏 東京都文京区千駄木

下門顯太郎氏 東京都豊島区长崎

上坊敏子氏 長野県北佐久郡軽井沢町大字追分字東かじか沢

室山尚子氏 東京都千代田区丸の内

監事

石橋健司氏 東京都千代田区丸の内

3. 総評議員数 4名

4. 出席評議員数 4名

5. 出席評議員

阪本要一氏、下門顯太郎氏、上坊敏子氏、室山尚子氏

6. 出席理事

今泉宏久氏、内田賢氏、森田健氏

7. 出席監事 石橋健司氏

8. 議長 評議員 上坊敏子氏

9. 議事録作成者 評議員 上坊敏子氏

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

- 第1号議案 第6期計算書類等の承認の件
- 第2号議案 理事選任（2名再任、1名新任）の件

報告事項

- 第1号報告 第6期事業報告の件
- 第2号報告 財団移転についての中間報告の件

議

事

1. 午後4時00分、開会に先立ち、森田事務局長より、本日の評議員会は、「Web会議システム」を利用し行なう旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。
2. 続いて、森田事務局長より、現在の総評議員数4名のうち、本日の出席評議員数は4名であり、定款第19条第1項の規定によって本日の評議員会は有効に成立した旨を報告した。
3. 定款18条の規定に従って、評議員の互選により評議員上坊敏子氏を議長に選任し、議長は定款第20条の規定に従い、評議員阪本要一氏及び評議員室山尚子氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
4. 議長は、第1号議案「第6期計算書類等の承認の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。
議長は、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、可決承認された。
5. 議長は、第2号議案「理事選任（2名再任、1名新任）の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。
議長は、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、可決承認された。
6. 議長は、第1号報告「第6期事業報告の件」を上議し、別紙資料を用い報告した。
7. 議長は、第2号報告「財団移転についての中間報告の件」を上議し、別紙資料を用い報告した。

以上、本日のWeb会議システムを用いた評議員会は、即時・双方向性が満たされており、終始異状なく議題の審議を終了したので、午後4時30分、議長は閉会を宣した。

みなし決議に関する評議員会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

1. 評議員会の決議があったものとみなされた日
2023年3月29日
2. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者
代表理事 今泉 宏久
3. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 定款一部変更の件
4. 評議員総数 4名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
代表理事 今泉 宏久

2023年3月20日、代表理事今泉宏久が評議員の全員に対して、評議員会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2023年3月29日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律194条（定款第19条第4項）に基づく評議員会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の評議員会決議があったものとみなされた。

V. 寄附に関する事項

第7期は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり寄附を受けた。

受領年月日	金額（円）
2022年5月19日	120,000,000
2023年3月29日	90,000,000

VI. 受取補償金に関する事項

第7期は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり受取補償金を受けた。

受領年月日	金額（円）
2022年10月24日	560,000,000

第 7 期 決 算 報 告

2022年4月1日から2023年3月31日まで

I. 貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	372,168,666	380,691,381	- 8,522,715
未 収 金	69,332,692	90,545,271	- 21,212,579
前 払 金	27,116,561	8,913,619	18,202,942
貯 蔵 品	1,118,177	2,505,845	- 1,387,668
流 動 資 産 合 計	469,736,096	482,656,116	- 12,920,020
2. 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
普 通 預 金	3,000,000	3,000,000	0
基 本 財 産 合 計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	44,828,767	42,242,356	2,586,411
特 定 資 産 合 計	44,828,767	42,242,356	2,586,411
(3) その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	0	22,863,460	- 22,863,460
什 器 備 品	47,264,655	47,519,144	- 254,489
ソ フ ト ウ ェ ア	16,395,133	4,020,450	12,374,683
建 設 仮 勘 定 金	419,760,000	0	419,760,000
敷 金	217,221,000	0	217,221,000
その他固定資産合計	700,640,788	74,403,054	626,237,734
固 定 資 産 合 計	748,469,555	119,645,410	628,824,145
資 産 合 計	1,218,205,651	602,301,526	615,904,125
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	39,714,463	48,776,858	- 9,062,395
預 り 金	5,932,080	6,067,403	- 135,323
未 払 法 人 税 等	70,000	70,000	0
賞 与 引 当 金	14,243,150	14,806,522	- 563,372
未 払 消 費 税 等	15,221,400	0	15,221,400
流 動 負 債 合 計	75,181,093	69,720,783	5,460,310
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	44,828,767	42,242,356	2,586,411
固 定 負 債 合 計	44,828,767	42,242,356	2,586,411
負 債 合 計	120,009,860	111,963,139	8,046,721
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一 般 正 味 財 産 合 計	1,098,195,791	490,338,387	607,857,404
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
正 味 財 産 合 計	1,098,195,791	490,338,387	607,857,404
負債及び正味財産合計	1,218,205,651	602,301,526	615,904,125

Ⅱ．正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	3,056	2,159	897
特定資産受取利息	3,056	2,159	897
事業収益	739,091,849	746,736,371	- 7,644,522
健診事業収益	701,647,108	686,636,478	15,010,630
業務受託収益	15,143,273	29,863,616	- 14,720,343
健康増進支援事業収益	22,301,468	30,236,277	- 7,934,809
受取寄附金	210,000,000	290,000,000	- 80,000,000
受取寄附金	210,000,000	290,000,000	- 80,000,000
雑収益	992,954	509,909	483,045
雑収益	992,954	509,909	483,045
経常収益計	950,087,859	1,037,248,439	- 87,160,580
(2) 経常費用			
事業費	768,529,223	729,025,901	39,503,322
役員報酬	3,677,796	3,422,696	255,100
給料手当	372,803,860	353,894,533	18,909,327
法定福利費	42,745,025	37,752,574	4,992,451
臨時雇賃金	14,241,998	9,460,744	4,781,254
退職給付費用	15,135,641	8,717,218	6,418,423
福利厚生費	12,392,956	10,750,342	1,642,614
派遣経費	2,380,950	1,218,000	1,162,950
旅費交通費	1,659,014	456,194	1,202,820
通信搬送費	17,628,468	17,629,559	- 1,091
減価償却費	19,613,617	32,846,901	- 13,233,284
消耗什器備品費	3,758,420	2,040,969	1,717,451
消耗品費	26,304,080	26,022,563	281,517
修繕費	11,729,851	11,559,338	170,513
保守費	6,721,964	6,047,320	674,644
印刷製本費	10,257,681	10,892,885	- 635,204
研究調査費	2,307,497	856,175	1,451,322
光熱水料	7,841,815	7,626,841	214,974
リース料	5,620,287	5,067,653	552,634
賃借料	91,459,321	89,051,652	2,407,669
不動産管理費	5,780,160	5,629,872	150,288
不保険料	11,440	0	11,440
諸謝金	45,455	290,912	- 245,457
租税公課	3,000	0	3,000
委託費	73,968,704	72,435,995	1,532,709
業務推進費	14,907,023	9,711,241	5,195,782
雑費	5,533,200	5,643,724	- 110,524

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管 理 費	51,495,674	54,505,113	－ 3,009,439
役 員 報 酬	4,173,927	4,004,508	169,419
給 料 手 当	24,325,892	30,654,891	－ 6,328,999
法 定 福 利 費	4,177,574	4,274,316	－ 96,742
退 職 給 付 費	0	61,718	－ 61,718
福 利 厚 生 費	1,683,251	2,484,961	－ 801,710
派 遣 経 費	1,372,695	0	1,372,695
旅 費 交 通 費	116,091	100,943	15,148
会 議 費	0	29,526	－ 29,526
通 信 運 搬 費	166,077	－ 761	166,838
減 価 償 却 費	396,090	1,239,144	－ 843,054
消 耗 什 器 備 品 費	329,673	70,000	259,673
消 耗 品 費	438,737	103,145	335,592
修 繕 費	187,250	730,700	－ 543,450
保 守 費	2,481,284	2,550,867	－ 69,583
印 刷 製 本 費	225,894	226,000	－ 106
研 究 調 査 費	22,273	3,637	18,636
リ ー ス 料	776,344	682,824	93,520
保 険 料	482,660	481,710	950
諸 謝 金	2,764,000	2,188,095	575,905
租 税 公 課	951,624	32,600	919,024
支 払 助 成 金	2,000,000	2,000,000	0
業 務 推 進 費	1,707,400	14,510	1,692,890
委 託 費	2,634,172	2,435,271	198,901
雑 費	82,766	136,508	－ 53,742
経常費用計	820,024,897	783,531,014	36,493,883
当 期 経 常 増 減 額	130,062,962	253,717,425	－ 123,654,463
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
移 転 補 償 金	560,000,000	0	560,000,000
経常外収益計	560,000,000	0	560,000,000
(2) 経常外費用			
建 物 付 属 設 備 除 却 損	22,863,460	0	22,863,460
什 器 備 品 除 却 損	4,532,582	0	4,532,582
雑 損 失	20,016,461	9,391,146	10,625,315
移 転 費 用	59,515,936	0	59,515,936
経常外費用計	106,928,439	9,391,146	97,537,293
当 期 経 常 外 増 減 額	453,071,561	－ 9,391,146	462,462,707
税引前当期一般正味財産増減額	583,134,523	244,326,279	338,808,244
法人税、住民税及び事業税	－ 24,722,881	70,000	－ 24,792,881
当期一般正味財産増減額	607,857,404	244,256,279	363,601,125
一般正味財産期首残高	490,338,387	246,082,108	244,256,279
一般正味財産期末残高	1,098,195,791	490,338,387	607,857,404
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	1,098,195,791	490,338,387	607,857,404

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	健診事業	健康増進 支援事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本資産運用益			3,056		3,056
基本財産受利息			3,056		3,056
事業収益	716,790,381	22,301,468			739,091,849
健診事業収益	701,647,108				701,647,108
業務受託収益	15,143,273				15,143,273
健康支援事業収益		22,301,468			22,301,468
受取寄附金		120,000,000	90,000,000		210,000,000
受取寄附金		120,000,000	90,000,000		210,000,000
雑収益	981,717		11,237		992,954
雑収益	981,717		11,237		992,954
経常収益計	717,772,098	142,301,468	90,014,293	0	950,087,859
(2) 経常費用					
事業費	676,960,764	91,568,459			768,529,223
役員報酬	1,336,920	2,340,876			3,677,796
給料手当	315,597,557	57,206,303			372,803,860
法定福利費	33,633,915	9,111,110			42,745,025
臨時雇賃金	14,241,998				14,241,998
退職給付費用	15,033,191	102,450			15,135,641
福利厚生費	10,234,934	2,158,022			12,392,956
派遣経費	2,380,950				2,380,950
旅費交通費	136,352	1,522,662			1,659,014
通信運搬費	17,522,242	106,226			17,628,468
減価償却費	17,871,116	1,742,501			19,613,617
消耗什器備品費	1,791,400	1,967,020			3,758,420
消耗品費	23,689,703	2,614,377			26,304,080
修繕費	10,919,351	810,500			11,729,851
保守費	6,382,164	339,800			6,721,964
印刷製本費	8,378,486	1,879,195			10,257,681
研究調査費	2,025,038	282,459			2,307,497
光熱水料費	7,841,815				7,841,815
リース料	3,871,647	1,748,640			5,620,287
賃借料	85,806,384	5,652,937			91,459,321
不動産管理費	5,425,380	354,780			5,780,160
保険料	11,440				11,440
諸謝金	45,455				45,455
委託費	73,968,704				73,968,704
業務推進費	13,285,932	1,621,091			14,907,023
雑費	5,525,490	7,710			5,533,200
租税公課	3,200	- 200			3,000

科 目	健診事業	健康増進 支援事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
管 理 費			51,495,674		51,495,674
役 員 報 酬			4,173,927		4,173,927
給 料 手 当			24,325,892		24,325,892
法 定 福 利 費			4,177,574		4,177,574
退 職 給 付 費			0		0
福 利 厚 生 費			1,683,251		1,683,251
旅 費 交 通 費			1,372,695		1,372,695
会 議 費			116,091		116,091
通 信 運 搬 費			166,077		166,077
減 価 償 却 費			396,090		396,090
消 耗 什 器 備 品 費			329,673		329,673
消 耗 品 費			438,737		438,737
修 繕 費			187,250		187,250
保 守 費			2,481,284		2,481,284
印 刷 製 本 費			225,894		225,894
研 究 調 査 費			22,273		22,273
リ ー ス 料			776,344		776,344
保 険 料			482,660		482,660
支 払 助 成 金			2,000,000		2,000,000
諸 謝 金			2,764,000		2,764,000
業 務 推 進 費			1,707,400		1,707,400
租 税 公 課			951,624		951,624
委 託 費			2,634,172		2,634,172
雑 費			82,766		82,766
経常費用計	676,960,764	91,568,459	51,495,674		820,024,897
当 期 経 常 増 減 額	40,811,334	50,733,009	38,518,619		130,062,962
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
移 転 補 償 金			560,000,000		560,000,000
経常外収益計	0	0	560,000,000		560,000,000
(2) 経常外費用					
建物付属設備除却損	15,744,250	5,877,079	1,242,131		22,863,460
什 器 備 品 除 却 損	772,108	3,405,897	354,577		4,532,582
雑 損 失			20,016,461		20,016,461
移 転 費 用	150,113		59,365,823		59,515,936
経常外費用計	16,666,471	9,282,976	80,978,992		106,928,439
当 期 経 常 外 増 減 額	- 16,666,471	- 9,282,976	479,021,008		453,071,561
他会計振替前					
当期一般正味財産増減額	- 16,666,471	- 9,282,976	479,021,008		453,071,561
他 会 計 振 替 額					
税引前当期一般正味財産増減額	24,144,863	41,450,033	517,539,627		583,134,523
法人税、住民税及び事業税			- 24,722,881		- 24,722,881
当期一般正味財産増減額	24,144,863	41,450,033	542,262,508		607,857,404
一般正味財産期首残高					490,338,387
一般正味財産期末残高					1,098,195,791
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高					
Ⅲ 正味財産期末残高					1,098,195,791

Ⅲ. 財務諸表に対する注記

1. この財務諸表は「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 令和2年5月15日改正 内閣府公益認定等委員会）によって作成されています。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法により期末評価を行なっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産の減価償却の方法は定額法によっています。

(3) 賞与引当金の計上基準

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

(4) 退職給付引当金の計上基準

退職給付引当金については、次の方法により期末要支給額を計上しています。

(定年退職扱いが適用される55歳到達時以前)

退職金規定に基づく期末要支給額を計上（従来どおり）

(定年退職扱いが適用される55歳到達時以降)

退職金規定に基づく期末要支給額をもとに、55歳到達時から60歳到達時までの各年度の費用が平準化されるよう引当金を計上

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっています。

(6) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、リース会計基準を適用しています。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、下表のとおり。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	42,242,356	14,965,641	12,379,230	44,828,767
小 計	42,242,356	14,965,641	12,379,230	44,828,767
合 計	45,242,356	14,965,641	12,379,230	47,828,767

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、下表のとおり。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	3,000,000	－	(3,000,000)	－
小 計	3,000,000	－	(3,000,000)	－
特定資産				
退職給付引当資産	44,828,767	－	－	(44,828,767)
小 計	44,828,767	－	－	(44,828,767)
合 計	47,828,767	－	(3,000,000)	(44,828,767)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、下表のとおり。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建物附属設備	0	0	0
什器備品	158,836,288	111,721,150	47,264,655
合 計	158,836,288	111,721,150	47,264,655

6. 関連当事者との取引内容

当期は関連当事者である明治安田生命保険相互会社より、財団運営資金として寄附金90,000,000円を、健康増進支援センター運営資金として寄附金120,000,000円を、事務所移転にかかる移転補償金として560,000,000円を受領しております。

IV. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載のとおりです。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	14,806,522	14,243,150	14,806,522	0	14,243,150
退職給付引当金	42,242,356	14,965,641	12,379,230	0	44,828,767

V. 財産目録

2023 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	647,606
		普通預金	運転資金として	371,521,060
		三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店	新宿健診センター	356,678,818
		新宿中央支店		7,441,223
		八十二銀行 新宿支店		1,625,577
		広島銀行 東京支店		1,426,263
		静岡銀行 新宿支店		2,200,506
		横浜銀行 新宿支店		50,375
		東日本銀行 新宿支店		806,785
		肥後銀行 東京支店		550,819
		スルガ銀行 東京支店		123,137
		山梨中央銀行 新宿支店		47,145
		みずほ銀行 新宿新都心支店		570,412
	未収金	健診事業	健診事業に係る未収金等	67,081,798
		健康増進支援事業	講演料等未収金	2,250,894
	前払金		賃借料等の前払金	27,116,561
	貯蔵品	手元保管	医薬品等の貯蔵品	1,118,177
	流動資産合計			469,736,096
(固定資産)				
基本財産	預金	普通預金	最低純資産額の維持・確保を目的とする財産	3,000,000
		三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店		3,000,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
特定資産	退職給付引当資産	普通預金 三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店	退職金支払いの資金として管理されている預金	44,828,767 44,828,767
その他固定資産	建物附属設備 什器備品 ソフトウェア 建設仮勘定 敷金	東京都渋谷区代々木 3-22-7	各事業の用に供している	700,640,788 0 47,264,655 16,395,133 419,760,000 217,221,000
固定資産合計				748,469,555
資産合計				1,218,205,651
(流動負債)	未払金 未払金 割賦未払金 未払消費税等	健診機器・システム納入 業者に対する未払金等	健診事業の用に供する什 器備品・消耗品の購入、 外注検査費の未払い分等	54,935,863 33,262,277 6,452,186 15,221,400
	預り金	従業員等からの預り金	従業員等から源泉徴収し た社会保険料等の預り金	5,932,080
	賞与引当金	従業員に対するもの	従業員 29 名に対する賞 与の支払いに備えたもの	14,243,150
	未払法人税等	未払法人税等	未払法人税等	70,000
流動負債合計				75,181,093
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員 20 名に対する退 職金の支払いに備えたも の	44,828,767
固定負債合計				44,828,767
負債合計				120,009,860
正味財産				1,098,195,791

Ⅵ. 監査報告書

監査報告書

2023年5月23日

一般財団法人 明治安田健康開発財団
理事長 今泉 宏久 殿

監事 石橋 健司 

私は、当財団の2022年4月1日から2023年3月31日までの第7期事業年度の理事の職務執行について監査を行いましたので、一般社団法人および一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法197条において準用する第99条第1項）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、第7期理事会資料を精査し、理事等からその職務執行について報告を受け、重要な決算書類を閲覧し、当財団の事務所において業務および財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当事業年度に係る事業報告を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第 8 期 事 業 計 画

2023年4月1日から2024年3月31日まで

I. 基本方針

第8期（2023年度）は、中期経営計画の最終年度として、第二の創業となる財団移転を契機に、健診エリアの拡充効果および営業体制の強化等を通じ、人間ドック等受診者拡大に向けた取組みを進める。併せて、専門職等の陣容拡大や個人能率の改善によりサービス体制も充実させ、次世代型の健診センター・健康増進支援センターの構築にまい進する。

1. 人間ドック（健診）事業

第二の創業となる新健診センターにおいて、これまでにない健診サービスの質的向上等を通じ、受診者の満足度向上を図り、選ばれ続ける健診センターとして、受診者数、健診収益の大幅な増大に取り組む。

健診技術の一層の向上を図るとともに、時勢に即したオプション検査の導入を含め、受診を喚起する諸対策を積極的に進める。

2. 健康増進支援事業

明治安田生命グループの「みんなの健活プロジェクト」における健康増進支援に加えて、「地域の元気プロジェクト」に関わるイベント支援等を通じ、健康増進の推進に取り組む。

健康経営に関わる業務では、健康経営優良法人の認定支援等を通じ、企業・団体の従業員の健康増進をサポートする。各種コンテンツの開発にあたっては子供から高齢者までの幅広いラインナップを実装し、展開を行う。

II. 実行計画

1. 人間ドック（健診）事業

第二の創業年度にあたり、人生100年時代を見据え、受診者一人ひとりの「健康増進・健康維持」を応援し、ニューノーマルな環境下においても選ばれ続ける「安心と信頼」の健診センターの運営を推進

(1) 受診者数と健診収益を大幅に増大させるための諸対策の実施

- ①新規受診者の獲得へ向け、ホームページの充実やWeb予約システムの改定を図るとともに、明治安田生命を含む既契約団体のさらなる深耕、新規契約団体の開拓に注力
- ②継続受診率の向上にむけ、特に初回受診者への継続受診を勧奨するとともに、各種データ分析による有効なサービスの提供、前年受診月3ヵ月前の勧奨ハガキの発信、アプリ活用等により、受診勧奨を推進
- ③午後の時間を活用した人間ドックと単科検診（乳ガン検診・婦人科検診）を推進するとともに、協会けんぽの健診受け入れ拡大で、多様な受診者ニーズに対応
- ④加えて、内視鏡検査室を2室から8室に拡充したことから、オプション検査としての内視

鏡検査拡大に注力

(2) 健診精度の向上および職員のスキルアップの支援

- ①人間ドック健診施設機能評価 Ver.4.0、マンモグラフィ検診施設・画像評価等、健診施設優良認定に向けた取組みを推進
- ②職員のスキルアップのため研修会等への参加奨励と関係資格取得のための支援、およびSDGs・LGBTQに関する講演会等社内研究会・研修会を計画的に実施

(3) 健康増進・疾病予防に関するアフターフォローの推進

- ①健康診断時におけるリスクスクリーニングによる未病、予防の取組みを推進
- ②健康診断結果に基づく、精密検査・再検査の勧奨や健康情報の提供を目的とした健診結果改善フォローを強化
- ③健康診断の当日結果説明の充実、運動・栄養・医師による保健指導を強化
- ④健康保険組合からの要請に対応できる特定保健指導体制を構築

(4) 事務リスクの縮減と健診サービスの向上

- ①円滑で効率的な事務運営と事務リスク縮減を図るために運営体制を強化
- ②お客さま満足度の一層の向上に向けた運営を推進
- ③ニューノーマルへの取組みとしてのデジタル化を推進

2. 健康増進支援事業

明治安田生命グループの健活拠点「健活ステーション」^(※)として、業務を一層拡大し、明治安田生命グループのヘルスケア事業の中核機関として成長する。

(※)「健活ステーション」：生命・グループ会社等の従業員だけでなく一般の方々も健康に関して、「学ぶ」、「体験する」ことが出来る健活拠点

- ・情報発信拠点として、健康増進セミナー・イベントの企画運営を強化するとともに、生命向け健活のコンテンツ開発を強化
- ・健診データを利活用した財団独自の健康関連エビデンスを構築

〈具体的実施事項〉

(1) 明治安田生命の「みんなの健活プロジェクト」を支援

- ①全従業員の健康診断結果の改善を含めたヘルスリテラシーの向上
- ②日常生活に即した内容の体験型セミナーの開催
- ③職場の健康づくりプログラムの提供で健活をサポート

(2) 明治安田生命の「地元の元気プロジェクト」を支援

- ①自治体との連携における健康増進に関するイベント・セミナーなどの支援
- ②公民館等新しいアフィニティにおけるサービスの開発と実施

(3) 健康経営を推進する団体・企業の支援

- ①健康経営優良法人の認定支援を中心とした団体・企業の健康経営を支援
- ②健康経営を支援するためのコンテンツ開発

(4) 財団発エビデンスの構築と発信

- ①学会発表・プレス配信・報告書作成等による情報公開

(5) 職員のスキルアップの支援

上記 (1) から (4) を実行するにあたり、科学的根拠に基づいた、効果の高い支援が提供できる人材を育成

Ⅲ. 収支予算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	健診事業	健康増進 支援事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特 定 資 産 運 用 益					
特 定 資 産 受 取 利 息					
事 業 収 益	817,991	19,850			837,841
健 診 事 業 収 益	806,361				806,361
健 診 収 益	803,361				803,361
保 険 診 療 収 益	3,000				3,000
健康増進支援事業収益		19,850			19,850
業 務 受 託 収 益	11,630				11,630
受 取 寄 附 金 益		120,000			120,000
雑 収 益	500				500
経常収益計	818,491	139,850	0		958,341
(2) 経常費用					
事 業 費	1,057,818	153,638			1,211,456
給 料 手 当	402,364	84,187			486,551
法 定 福 利 費	45,842	12,628			58,470
臨 時 雇 賃 金	18,052				18,052
退 職 給 付 費 用	14,408	72			14,480
福 利 厚 生 費	12,825	3,138			15,963
派 遣 費 用	3,500				3,500
旅 費 交 通 費	380	1,500			1,880
通 信 運 搬 費	18,740	65			18,805
減 価 償 却 費	151,283	13,250			164,533
消 耗 什 器 備 品 費	2,480	1,200			3,680
消 耗 品 費	25,610	4,400			30,010
修 繕 費	10,840	1,100			11,940
保 守 費	8,680	100			8,780
印 刷 製 本 費	9,845	1,170			11,015
研 究 調 査 費	2,150	1,070			3,220
光 熱 水 料 費	7,500	1,000			8,500
リ ー ス 料	14,590	1,700			16,290
賃 借 料	201,529	22,103			223,633
不 動 産 管 理 費	10,800	1,200			12,000
委 託 費	72,550	150			72,700
業 務 推 進 費	17,769	3,400			21,169
雑 費	5,882	104			5,986
諸 謝 金	200	100			300

科 目	健診事業	健康増進 支援事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
管 理 費			74,794		74,794
役 員 報 酬			170		170
給 料 手 当			34,356		34,356
法 定 福 利 費			4,458		4,458
退 職 給 付 費			60		60
福 利 厚 生 費			2,957		2,957
派 遣 経 費			1,000		1,000
旅 費 交 通 費			150		150
通 信 運 搬 費			200		200
減 価 償 却 費			5,950		5,950
消 耗 什 器 備 品 費			1,000		1,000
消 耗 品 費			2,200		2,200
修 繕 費			800		800
保 守 費			3,150		3,150
印 刷 製 本 費			230		230
研 究 調 査 費			10		10
リ ー ス 料			703		703
保 険 料			1,600		1,600
支 払 助 成 金			2,000		2,000
委 託 費			3,200		3,200
業 務 推 進 費			4,755		4,755
雑 費			420		420
会 議 費			230		230
諸 謝 金			3,675		3,675
租 税 公 課			1,520		1,520
経 常 費 用 計	1,057,818	153,638	74,794		1,286,249
当 期 経 常 増 減 額	- 239,327	- 13,788	- 74,794		- 327,908
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経 常 外 収 益 計					
(2) 経常外費用					
経 常 外 費 用 計					
当 期 経 常 外 増 減 額					
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	- 239,327	- 13,788	- 74,794	0	- 327,908

役員・評議員名簿

役 員 名 簿

理 事 長 今 泉 宏 久

理 事 森 田 健

理 事 三 森 教 雄

監 事 石 橋 健 司 明治安田生命保険相互会社 関連事業部長

評 議 員 名 簿

阪 本 要 一 東京慈恵会医科大学客員教授

下 門 顯太郎 東京医科歯科大学名誉教授

上 坊 敏 子 独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院
婦人科腫瘍センター顧問

室 山 尚 子 明治安田生命東京診療所所長

